

## 平成25年度第1回 鳥取市総合企画委員会（議事概要）

- 日 時 平成25年8月6日（火）9時00分～11時00分
- 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 全員協議会室
- 出席委員 井上 学、佐々木紀久子、佐々木ちよ子、沢田陽子、福山裕正、道上正規（委員長）、森本坦子、渡邊勘治郎（副委員長）（8名）  
（五十音順、敬称略）
- 欠席委員 尾崎直美、谷口節次、福島 明、藤縄匡伸、藤沼康実、細井和江、森原昌人（7名）（五十音順、敬称略）
- 鳥 取 市 市長、副市長ほか各部長（監・局長）、行財政改革課（事務局）

### 1 開会（行財政改革課 河村次長）

ただ今から、平成25年度第1回 鳥取市総合企画委員会を開催します。開会にあたりまして、竹内市長がご挨拶申し上げます。

### 2 市長あいさつ（竹内市長）

- ・ご多忙中にも関わらず本委員会にご出席いただきありがとうございます。
- ・本日は、鳥取市総合計画後期実施計画案について協議させていただき、また、本市の重要懸案事項について具体的にご説明し皆さんからいろいろとご意見をいただきたいと思えます。
- ・本市の目下の最重要課題となります庁舎整備について、長い時間の経過の中で議論をされてきておりますが、最終的な方針を出す段階になっています。市民の皆さんのご意見や、これまでの検討、あるいはいろいろな取組みの経過、これらを踏まえて庁舎整備についてしっかりと方針をたて、執行部として議会に対してそれを提示していくといった重要な段階を迎えているところです。
- ・6月議会の冒頭に基本的な考え方を示し、そして6月の終わりには基本方針案を示しており、これにつきまして7月13・14日の2日間市内5か所で開催した説明会や地域づくり懇談会などの中でご説明し、皆さんからたくさんのご意見をいただいております。
- ・そうした中で、庁舎として必要な機能、例えば防災の拠点としての機能あるいは市民サービスの拠点としての機能こういった機能をしっかりと整えつつ、費用を出来るだけ少なくするといったバランスのとれた全体構想をすみやかに取りまとめたいと考えております。
- ・財源については、合併特例債の活用や、公共施設整備の基金も蓄えておりますので、こうしたものを活用して、将来の世代に負担をかけないということを大きな方針にしており、こういった点をこれからも十分市民の皆さんにご説明しながら、機能の充実した、そして

費用のかからない形での整備を出来るだけ速やかに行っていきたいと思っております。

- ・その他、鳥取自動車道の開通に伴って今我々が努力すべきは、雇用の場の拡大・地域経済の活性化であり、こういったことに対処するよう様々な取組みを予定しております。
- ・砂の美術館第6期展示「東南アジア編」も好調であり、また、秋からは全国都市緑化とつとりフェアという緑化に係わる取組みを鳥取市が主会場として行います。街の賑わい、鳥取自動車道を活用しての多くの交流人口が生まれていくといったことにしっかり取り組んでいこうと思っております。
- ・8月10日から15日までの期間開催されるしゃんしゃんウィーク、また、24日・25日にはエンジン02という文化人を招いての食の情報発信といった取組みなどを通じて鳥取市を賑わいと活力のあるそして魅力のある地域としていきたいと考えております。
- ・これからも鳥取市の取組みにつきましてご理解を深めていただく中でいろいろとご指導いただきますようお願いを申しあげたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

### 3 委員長あいさつ（道上委員長）

- ・皆さんおはようございます。
- ・先日鳥取市周辺でも非常に大きな豪雨がございましたが、気象庁の予測によれば、今年は雷を伴うような豪雨が通常の年の3倍程度あるのではといわれており、これはひとえに気候の温暖化現状の一つの形態ではないかと考えられます。鳥取は割合災害が無いというように言われることもありますが、こういった変化の中であって、そういう過去の経験はほとんど無力ともいえます。
- ・こういった災害については、どなたにも同じような割合でリスクが存在します。そのリスクをどう減少していくかについては、先程市長も言われたように、例えば市役所の市庁舎の中で防災関係の機能をしっかりと整えて、そこが市民の一つの司令塔になっていかないといけないと思います。
- ・市役所はいわゆる基礎自治体、我々市民の窓口になっていますので、そこがしっかりとしないと悲惨な目に合うのは我々市民なのです。そういった事がないようハードの整備も大事ですし、日頃から防災・減災のためにソフトの整備も一緒に行ってもらいたいと思います。
- ・「どうしたら鳥取市が安全で住みよい街になるか」、また、「豊かなくらしができるようになるか」というのを皆様方の英知を集中してこの計画を議論していただきたい。第9次総合計画残り今年も入れて3年、仕上げの段階です。本市が豊かなまちになり、また、市民の皆さんが、いきいきと生きれる様な道標となる計画となるよう、いろいろな観点からご議論願えるとありがたいと思います。
- ・本日はどうぞよろしく申し上げます。

#### 4 議事

○行財政改革課 河村次長

ありがとうございました。それではこれから議事に入らせていただきます。委員会条例により、委員長が議長を務めることとなっており、これ以降の議事の進行については、道上委員長をお願いします。

○道上委員長

これより議事に入ります。それでは、第9次鳥取市総合計画後期実施計画の策定について事務局より説明をお願いします。

##### (1) 協議事項

●第9次鳥取市総合計画後期実施計画の策定について

・第9次鳥取市総合計画後期実施計画（案）について

○事務局説明（行財政改革課 河村次長）

資料に基づいて説明（略）

○道上委員長

ただ今事務局の方から第9次鳥取市総合計画の前期の取組みについてと、後期の実施計画に向けての方向性などの説明に関しまして皆さんからご意見、ご質問をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○佐々木ちる子委員

市の防災委員会の中に女性を入れていただいたのは、ありがたいと思っています。地域の自主防災会でも地域の事をよく分かっている女性の方を何人か入れていただいて災害時に女性の目線で意見を言えるような組織を作っていただきたいと思っています。

○山本防災調整監

自主防災会、これは基本的には「自主」ということで、地域の中で、自分たちで組み立てていく組織ではございますが、やはり地域の中でも女性の意見を取り入れていただくということは、非常に大切な事であると思っております。自主防災会の組織がありますので、今のお話を総会等の席で伝えていきたいと考えております。

○道上委員長

鳥取市が本格的に新しいコンセプトでやっていくためには、実施計画を作るなどして進めていかなければ、なかなか女性の割合が増えないと思う。自主防災会やほかの委員会などでも言っていただきたい。女性の割合を増やすことはとてもいいことだと思います。

○山本防災調整監

今の女性の目線という所ですが、防災関係は危機管理課が担当しておりますが、この4月から初めて女性職員を配置して、女性目線に立った行政をやっていくという姿勢をみせておりますので、ご紹介させていただきます。

○道上委員長

委員会で言っぱなしということにならないように結果を出していただきたい。

○福山委員

Uターンを増やす、鳥取の農産物を関西へ持って出るという事をセットにした、もっと大々的な、ダイナミックな発想を出来ないかと絶えず考えているのですが、市の方と話をしていると、関西との交流を大きくしようという機運はあるものの、ダイナミックな発想が無いように感じます。首都圏の東京もいいが2時間半で行ける関西の魅力を、関西広域連合という括りがあるこの時期にもっと展開出来れば、かなりのものが解決出来ると思うので、計画を練るこの時期に十分検討していただきたいと思います。

○道上委員長

私の方から質問なのですが、供給サイドが高齢化して、作る方の人口も少なくなってきたおり供給が追いつくのかどうか。需要があるのかもしれないが、供給が細ってしまうと商売にならない。そういった点が大丈夫かどうか踏まえて事務局よりお願いします。

○大田経済観光部長

関西は、高速道路も開通して近くなり、農産品だけでなくいろいろな製品も含めて結びつきを強くしたいと、いろいろな施策を行っているところです。東京に関しては、ブランド化という位置づけで、少量でもブランドを高める施策を行っており、また、関西圏については、鳥取のいいもの「食」、特に農産品をいろいろもっていきたいということで、色々な施策を行っております。農業関係では、東部広域との関連で関西圏に協力店もありますし、今はマーケット関係に大量に入れる仕組みを作っております。ご指摘のように、市のもっている様々なチャンネルを利用しながら、もっと力強く取り組んでいきたいと思います。

また、供給量の問題も大きな課題でございます。何か商品を持っていこうとする時に、スーパーマーケットと良い話になっても量が揃わないということも時々ありますので、その辺りも含めてJAさんなどと協議しながら進めていきたいと思います。

○福山委員

徐々に大きくなっていることは分かりますが、周辺では、田んぼは案外作っておられるが、畑に遊休農地が増えてきている。小さい地域ですけれどもそういう傾向がある。関西に持ってでますから、もっと作ってくださいというような機関を作れないかなど考えているが、そのような力強いものを示せないかと思います。

○道上委員長

そういう事を含めて、事務局の方で検討していただきたいと思います。その他ご意見はありますか。

○佐々木紀久子委員

ごみの減量化などの関係ですが、古紙回収について、燃えるごみを出す時に新聞や広告も全部一緒にして出している人が結構いる。市の回収を見ると月に1回古紙回収があるが、一月に1回だと分かりにくい。ティッシュペーパーの空き箱とかお菓子の空き箱とかの箱もあり、まとめると結構な量になるので、他のごみ収集と兼ねてでもいいので、月に2回ぐらいは出せるようにしていただいたら、きちんと出せるようになるのではないかなと思っていつも見ている。

○佐々木ちる子委員

ミックスペーパーとあって、婦人会では、それ専用を集めて資源回収とかに出している。今のごみの減量化について一つお願いがあるのですが、鳥取市と県と両方が補助金について助成団体におろしているが、偏りが出ていると感じている。県と市と話し合いをされておろしていただくと、受ける方は広めやすい。そういう状態もあつてか、なかなか進んでいかない。する人はするけど、しない人はしない。

もうひとつ、以前鳥取市が乾燥機を買ったら補助金を出している制度があったと思うが、それが有ると皆さん便利だと言われるが、そういう制度はなくなったのでしょうか。

○藤井環境下水道部長

1つ目の資源回収について、月1回でなくて、月2回に出来ないかというお話についてですが、これについては、詳しく調べまして対応が可能なものであれば出来るだけ早く検討はしたいと思います。

2つ目は、県と市のごみ減量化のための取組みについてですが、県の内容については承知しておりませんが、お話があったことを基に、県と市の事業を調査しまして、調整できるものは県と協議していきたいと考えております。

3つ目の乾燥機については、事業としては終了したものでございます。

○道上委員長

まず、第1番目のコメントとして、県と市が同じようなごみ減量化の取組みを行っている中で、担当課の方が中身を知らないのは非常識だと思う。プロフェッショナルなことから。補助金のあり方からいっても無駄な事をやっているとも言える。これから補助金というのはどんどん削減されると思うので、県と調整し、議論しながらやってもらいたい。当然やっているとは思いますが。

山本防災調整監は東部広域におられたので一番よく知っていると思うので、指名したい。

○山本防災調整監

コンポストを無くしたのは、実は以前は堆肥の機械だったものが、メーカーさんの方が、ごみの乾燥機に変えてしまわれたため、堆肥の機械がなくなってしまった事。それから電気まで使ってごみを乾かす事が地球全体の事を考えるとどうなのか。そういったいろんな事の中でコンポストの電気式の機械は止めました。ただ、生ごみをコンポストする機械については、補助対象としております。

○道上委員長

一つだけ、生ごみの取り扱いについて、もっとごみ収集車を綺麗にするための助成金を出してほしいという意見が出ている。ごみが汚いというイメージを出来るだけ無くすことによって、取り組みを進めていくなど、いろいろ検討してほしい。その他ご意見はありますか。

○森本委員

浜坂では、1丁目から8丁目まであり、たくさんの世帯があるにも関わらず、スーパーが1件もなく非常に高齢者が困っておられる。コンビニはあるのだが、生鮮食品などの取扱いはありませんし、一番近いスーパーでも高齢者の方はなかなか出られないという意見をいろいろな方から聞いています。何とか対策はないかと思っている。

○道上委員長

高齢者の買い物支援についての取組みが、先程の説明であったと思うが。そういうものの中で将来的に検討できるかどうか、事務局の方で説明をお願いします。

○大田経済観光部長

スーパーの誘致というのは、なかなか行政も難しいものではあります。買物弱者の対策はこれから重要になってくるであろうという事で、2年前に庁内で関係課、福祉、農林等も含めて買物弱者対策のプロジェクトに取り組んでいるところです。その中で今施策として取り組んでいるのは、どうしても中山間地域というようなことがありまして、佐治地域では俵さじ式拾壺21が、市も支援しまして買物弱者の対策をされています。また、街なかの方では、トスクが日進、醇風、久松地区を定期的に回るなどの取組みをされている所です。今日浜坂の方でというご意見をいただきましたので、トスクにも対応が出来ないかということ、協議の中で言っていきたいと思えますし、イオンもサービスをされているということもございます。これからは一人暮らしの方が多くなり、非常に大事な事であると思っていますので、民間の方と一緒にいろいろ取り組みたいと考えております。

○道上委員長

事務局の方でしっかりと取り組んでいただきたい。

それでは、他に無いようでしたら、協議事項はこれで終わり報告事項に移りたいと思います。

**(2) 報告事項について**

①鳥取市庁舎整備について

○事務局説明（庁舎整備局 亀屋局長）

別添配付資料に基づき説明（略）

○道上委員長

庁舎整備についてのご説明がありました。時間もありませんので、報告事項全ての説明が終わってから質問をお伺いしたいと思います。それでは、事務局説明をお願いします。

②看護師等養成機関誘致の取り組みについて

○事務局説明（企画推進部 武田部長）

別添配付資料に基づき説明（略）

③鳥取駅前太平線「バード・ハット」について

○事務局説明（中心市街地整備課 岡課長補佐）

別添配付資料に基づき説明（略）

④エンジン02鳥取・食のまつり2013～先鳥（さきどり）の食卓～の開催について

○事務局説明（文化芸術推進課 西村課長）

別添配付資料に基づき説明（略）

○道上委員長

報告事項①②について特にご関心があったようですが、報告事項について、ご意見ご質問等ありましたらお願いしたいと思います。

○佐々木ちる子委員

看護師養成学校が出来るという事ですが、正看護師と准看護師の両方あると聞いているのですが、どちらになるのでしょうか。

○武田企画推進部長

正看護師の養成所で、定員は80名でございます。併せまして、リハビリが理学療法士40名、作業療法士40名、言語聴覚士40名の定員となっております。言語聴覚士は2年を予定しておりますので、全学年で560名ということになります。

○道上委員長

看護師等の養成所が駅前に出来るということで、一つだけ私の意見なのですが、駅の玄関口が良くなりつつあるので、建物のデザインをしっかりしたものとしてほしい。市も助成金を出すと思うので、デザイン料をきちんと織り込んで皆さんが納得できるような建物にしてほしいと思います。

○福山委員

庁舎の件についてですが、話が二転三転していてここまで来たかという感もあるが、別の審議委員会の委員で、もう辟易としたと言われる方がおられた。審議していいものを作ることが出来ればいいとは思うのだが、一つだけ気になるのは、市立病院の跡地も使います。駅南庁舎も整備します。また、既存の庁舎についてもというような話があるが、費用の問題もある中でどうなのでしょう。

○亀屋庁舎整備局長

市立病院跡地については、新たな施設をと検討している所でございますが、既存の庁舎のあり方について、駅南庁舎については、駅周辺ということで一体型として集約できるという考え方になっております。現本庁舎・第二庁舎については、将来的なランニングコストを含めて適正な配置こういったことを今後検討していこうとしている所です。

○福山委員

そういう事でしょうけど、もう少し流れを見ております。言いたいのは、そのように広げていってうまくいくのだろうか。予算的にも、市議会、市民の理解の点でもどうなのかなと思っていて、見守っていきたいと思います。

○佐々木紀久子委員

以前中央病院の方で、看護師の方が看護学校を出て就職しても、たくさんの方が辞めてしまい困っているという事を聞いた事がある。中央病院の所にある看護師学校はどの程度辞める方があるのか、また、新しくできる所もちゃんと残ってくださるのかといった事は、検討といいますか、研究されたりしておられるのでしょうか。

○武田企画推進部長

看護師の離職というのは、鳥取だけの事ではありませんで、全国的にも課題となっております。細かい数字までは分かりませんが、3年以内の辞職率というのが調べられておまして、これによりますと鳥取県内で6%~7%程度の離職率ということで聞いております。有資格者でありますので、その病院を離れられても、また別の医療機関で働かれるとか、個人のご事情があるようですが、こういった実態になっております。

○佐々木紀久子委員

ここに何年かは勤めてくださいといった事もないのですか。

○武田企画推進部長

看護師については、奨学金の制度を県が設けておまして、この奨学金を借りられた方は、例えば一定年限を鳥取県内の医療機関で勤めなさいというような制約がある場合がございますが、現在のところ学校独自の条件というのは想定しておりません。

○道上委員長

(仮称)鳥取市医療看護専門学校、仮称ですけれども「鳥取市」というのは、どういった意味を持つものか。

○武田企画推進部長

「鳥取市」を名前に付けましたのは、鳥取市と民間の学校法人が連携して設置する学校という意味合いを込めまして付けております。鳥取医療専門学校といいますと、鳥取県内のどこにあるのかという事も言われかねませんので、あえて「鳥取市」という事で冠に付けさせていただいています。



○道上委員長

鳥取市が誘致する際に条件として助成をしますという事ですが、大阪慈慶学園という学校法人が経営母体となるという事ですね。

○武田企画推進部長

委員長が説明されたとおり、誘致に際しまして、建物を学校法人の責任で学校法人が自分で建てられるわけです。それに対して鳥取市が補助をします。それから土地については、30年間ただで貸す条件です。その代わり運営は学校が責任を持ってやってくださいと。オープンしてから、赤字ですから鳥取市に補助金をくださいといった事は、鳥取市は面倒見ませんといった条件で現在取り組みを進めております。

○道上委員長

その時に、奨学金を出したりすることを検討しているのか。

○武田企画推進部長

奨学金については、県の制度の対象になるのかなども含めて別の議論になろうかと思いますが、これについては、ある程度議論していく必要があると思っております。

○道上委員長

皆さま方のまわりの方でも感心のある方がおられると思います。他にご意見等ありますでしょうか。

○沢田委員

吉方の三洋電機の跡地についてですが、企業誘致して、1,000人規模の就業者を見込んでいるという話を聞いたのですが、それについては、どうなのでしょう。

○大田経済観光部長

三洋電機が昨年の末に操業停止されて、鳥取市としてはこの用地は工業用地でもあり、高圧電力も含めて産業基盤の利便性の高い土地だという点と、商業系でなく産業の再構築や雇用創出をどうにか目指していきたいという事で、年末に市長がこれを購入して企業誘致に使いたいということを表明しまして、2月に三洋さんに申し入れた所です。交渉が整いまして、7月の臨時議会で予算の確保をし、企業誘致につなげていくという考えです。今、複数の企業にあたっておまして、1社は前向きに考えておられますし、どうにかこの1、2年で企業誘致につなげて雇用創出を図っていきたくと考えております。

○道上委員長

雇用の場を確保してもらえると、非常に市民は嬉しいとこういう事がありますから、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

○沢田委員

大学生が卒業して戻ってこようとしても、雇用の場がないので、大きい企業を誘致すれば若い人が戻ってくるし、また出ないと思います。先決問題であると常日頃から思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。

○道上委員長

このぐらいで時間がきたようですので、終わりにしたいと思うのですが、渡邊委員さんの方から何かありますでしょうか。

○渡邊委員

鳥取自動車道の開通、砂丘砂像常設展示などの取り組み以降、市長さんの姿勢というのがすごく積極的になられたように感じます。いろいろな面で、いろいろな施策がどんどん進んでおりますので、こういった形で進めていただければ活性化などすばらしい鳥取市ができると思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

○道上委員長

どうもありがとうございました。

## 5 その他

○道上委員長

その他について、何かあれば事務局より説明をお願いします。

○河村次長

事務局より緑化フェアとふるさと納税の2点について、PRの方をさせていただきたいと思ひます。

別添資料に基づいて説明（略）

○道上委員長

ご意見があると思ひますが時間が限られており、今日は終了としたいと思ひます。

## 6 閉会

○河村次長

以上をもちまして平成25年度第1回鳥取市総合企画委員会を閉会します。ありがとうございました。